史
歴史

天皇中心の国づくり

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1: 冠位十二階（かんいじゅうにかい）―家がらにとらわれず、能力のある人を役人に取り立てた　十七条の憲法―役人の心がまえを示した　遣隋使（けんずいし）―中国に使いを送り、進んだ文化や制度を学んだ
  法隆寺（ほうりゅうじ）―聖徳太子が建てた寺。今残る世界でいちばん古い木造の建物
- 2: ① 中臣鎌足（なかとみのかまたり）　② 大化の改新
- 3: 推古天皇

みてあげる ところ

- 聖徳太子（厩戸王（うまやどのおう））は推古天皇を助け、冠位十二階（かんいじゅうにかい）・十七条の憲法・遣隋使（けんずいし）などで天皇中心の国づくりを進めました。645年、中大兄皇子と中臣鎌足（なかとみのかまたり）が蘇我氏（そがし）をたおし、大化の改新を始めました。

書体: Klee One（SIL Open Font License）